

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		後期高齢者医療事業(賦課・徴収)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康				
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	仁田 真由美				
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線)	2116				
法令根拠		高齢者の医療の確保に関する法律											
予算科目	会計	25	款	1	項	1	目	1	事業連番	11239	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	1
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		20	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~	年度)	コスト削減優先度評価結果	12		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 平成20年4月より、制度化される後期高齢者医療保険制度(75歳以上を対象にした医療制度)に伴い、新たに後期高齢者医療保険料が発生するので、その保険料の賦課・収納を行う事務である。保険料は県下統一した均等割・所得割(本人及び世帯主の前年所得が対象)が設定されるので、その率により保険料を決定する。後期高齢者医療被保険者への資格受付及び広域連合への書類進達・被保険者証の交付・保険料の賦課・徴収

- 【業務の流れ】
- 保険料の賦課・徴収及び熊本県後期高齢者医療広域連合への保険料納付・資格受付事務
- 【主な予算費目】・需用費、役員費、委託料、負担金補助及び交付金(広域連合納付金)
- 1 現状把握の部(DO, PLAN)
- (1) 事務事業の目的と指標
- ① 手段(主な活動)
- 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
- 課税情報データの取り込み、保険料の賦課、決定通知書の送付、普通徴収納付書発送、窓口、電話での対応、督促状発送、滞納整理、収納管理、過誤納金の還付処理。
 - 熊本県後期高齢者医療広域連合への保険料納付
 - 被保険者の資格及び給付に関する受付事務(資格取得、喪失及び療養費等の窓口受付)
- 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
- 7月に本算定を行い、決定通知書を全被保険者(約5,000人)に送付するとともに、普通徴収の人には納付書を送付する予定である。
- ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
- ア 調定額 円
- イ 滞納額 円
- ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
- ア 被保険者数 人
- ⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
- ア 収納額 千円
- イ
- ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
- ア 一般会計からの繰入額 円
- イ 保険給付に占める保険税比率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		~ 年度
投入量	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0	
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円				3,751	3,100	3,200		3,300
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	3,751	3,100	3,200		3,300
うち指定経費	千円									
から時間外、特殊勤務手当	千円									
人件費	正規職員従事人数	人			6	6	6	6	0	
	延べ業務時間	時間			2,556	2,000	2,000	2,000		
(B)人件費計	千円	0	0	0	10,173	7,960	7,960	7,960		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	13,924	11,060	11,160	11,260	0	
活動指標	ア 円			349680	318407	320000	325000	330000	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
	イ 円			5000	1948	2000	2500	3000		
対象指標	ア 人			4700	4995	5100	5200	5300		
成果指標	ア 千円			342686	316496	318400	323375	328350		
	イ 円									
上位成果指標	ア %									

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
- 健康保険法の一部改正に伴い、平成20年度から原則75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が開始される。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
- 後期高齢者医療制度においては、被保険者全員の方々に保険料を負担していただくことから制度の周知を徹底する必要がある。
 - 高齢化が今後も進むと思われるので、対象者が増加すると思われるので、滞納金額も増加すると思われる。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
- 住民説明会において、市民の方から高齢者への保険料負担は重いと意見があった。
 - 被用者保険に加入していた人も賦課されるので、苦情が多く寄せられた。
 - 制度発足してすぐ改正が行われたので、事務担当者及び被保険者も戸惑いがあった。

事務事業名	後期高齢者医療事業(賦課・徴収)	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の後期高齢者医療保険料を確実に納入してもらうことによって、上位目的の医療保険制度が適切に運営される。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 国が定めた社会保険制度であり、高齢者の医療を確保する上で必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 法令により定められており、廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 当該事業以外ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 当該事業に係る軽費のほとんどが役務費等なので、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 高齢化が進んでいるため、被保険者数も増加すると思われるので、削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 75歳以上の高齢者全ての人に医療を受ける権利があるため公平性は保たれている。ただ、医療費が高くなる人とそうでない人がいることは否めない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)